

■招詞 ヨハネによる福音書 11:25-26 「私は復活であり、命である。私を信じるものは、死んでも生きる。生きていて私を信じるものは誰も、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」

■礼拝の祈り

<礼拝の招きへの感謝>

この朝も、あなたの招きにしがたって、こうして礼拝を捧げるために集まって参りました。この礼拝も先週祝ったイースターに根ざしていること、主イエスの十字架が、わたしたちの救いであることをあらためて確かにする時です。この恵みによって、御前に立つことが許され、わたしたちはこうして礼拝をささげることができます。感謝をいたします。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

あなたはこのようにわたしたちを憐れみによって招いてくださいました。しかし、本来であれば、あなたのみ前に立つのにふさわしいところなどなにもなかった者です。一日の生活、隣人、家族との生活の中で、祈ること少なく、御言葉に聞かず、あやふやな信仰で生きてきたかに気付かされます。人を愛するのではなく、自分だけを愛し、時に自分すらも愛さず、真実を求めるのではなく、自分の正しさを証明しようとしてやっきになっていました。その先には、あなたを自分の後ろに置き、忘れ去り、自分が神にすまざるものとする恐るべき罪でした。わたしたちは死ぬべき罪人です。けれども、あなたはわたしたちを滅びに任せることをなさいませんでした。そのかわりに、御子を十字架につけ、罪もろともその体を滅ぼしてくださいました。受難週の主の日、今、もう一度主の十字架を見上げて、御前にひざまずきます。どうかわたしたちの罪を赦すための十字架であったことを思いおこし、あなたのこの大なる恵みの力の中に生きさせてください。この十字架を経て、復活の新しい命をあなたはくださいました。どうかもういちど十字架の事実、復活の真実に立たせてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

この礼拝もまた、主のご復活を喜び祝う礼拝をする日です。わたしたちは、主イエスの十字架の死に与って自分の罪の生き方を重ねることで死に、復活の主イエスのいのちに与って、新しい命を与えられて生きていきます。そのことが自分にとって、この礼拝において、聖霊の力によって真実となりますように。復活の光の中でわたしたちを本当のいのちに活かしてください。あなたの御言葉を今日もお与えください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<教会をたてあげてください>

新しい年度を歩み始めました。教会の歩みを守り導いてください。わたしどもの教会の歩みが主の栄光をあらわし、主イエスの福音を喜んで語り、あらわす歩みとなりますよう聖霊をお与えください。

<連合長老会を憶えて>

歩みをとものにします。神奈川連合長老会も新しい歩みを始めています。海老名教会には中島善子牧師が着任なさいました。中島牧師の業を守り強め、ともに新しく歩みをはじめる海老名教会を祝福してください。坂口由起牧師、柳沼大輝牧師の牧師としての新たな歩みを守りお導きください。それぞれが仕えます港南希望教会、鎌倉雪ノ下教会の礼拝を祝福してください。無牧師の時を歩む大磯教会、横浜中田教会をお守りください。

<困難の中にいる人に救いの希望を与えてください>

病や悩みを持っている人を助けてください。心でも体でもその痛みは本当にはその人にしかわかりません。しかし、すべてを創られ、支配なさり、人の心の奥までもすべえご存知の全能の神よ、わたしたちと同じ体を持ち、同じ痛み苦しみを、最も深いところまで知ってくださる主イエスよ、どうか苦しみの中にいる人達とともにいてください。誰も知らない自分の痛みを知ってくださる方がいてくださる。そのことを知らせてください。

自然災害で困難の中にいる人がいます。能登の人たち、台湾の人たちを助けてください。

<祈りのうちに歩ませてください>

この礼拝から送り出されて新しい一週間を歩み始めます。主イエスに作り変えられた新しいものとして歩むことができますように導いてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように。アーメン。